

お勧め図書館

「ねえ、ママ」

池辺 葵 著 秋田書店 680円

「母と子」をテーマにした短編漫画集です。母として、子として読んでそれぞれの立場でほろりとできるお話ばかりです。息子が就職して家を出る前夜の母。引きこもっていた息子が黙って外出し、帰宅した時に母にかけける声。母親と子供の間にある複雑で繊細な感情を、自分と子、母と自分に重ねて味わうことができました。

「子」として生きた年月よりも「母」として生きた年月が長くなるお年頃・・・のお母さんはぜひ読んでみてください。 (森)

平成30年度賛助会員募集のお願い

今年も皆さんにお願いする季節になりました。

昨年も皆さんのご支援ご協力をいただき、北斗七星の運営にあたってまいりました。障害児・者、家族を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがありますが、更なる支援を進めてまいります。

つきましては、30年度も引き続き皆さんに賛助会員としてご支援をお願いいたします。

年会費	個人	一口	3,000円
	団体	一口	5,000円

申込方法 最寄りの北斗七星会員まで
または郵便振替用紙をご利用ください。



編集後記

進学・進級おめでとうございます。

新しい環境に馴染めるかな？と不安もあるでしょう。

環境が変わっても、私たちは、いつもと変わらず、

みんながほっと安心できる場所・人でありたいと思います。(T)

NPO法人 北斗七星 会報

2018年 春号 (214号) 2018.4.24 発行

銀河通信

NPO法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 43-6151 Fax 46-9504



高校入学！！



おめでとうございます！！

～ 新入学生の保護者の皆さんからメッセージを頂きました ～

- ☆卒業に向けて自転車練習やトイレ掃除など頑張りました。ただ、頑張りすぎる所もあるので、「ほうれん草」(報告・連絡・相談)を忘れないで、いつでもつらい時は相談して下さい。あせらず一步一步、一人ではなく一緒に頑張りましょう。
- ☆これまでいろんな事があったね。泣いたり、笑ったり、怒ったり・・・でも、笑った数が多かったかな？これまでのことをバネにして、もっとたくさん笑顔で過ごそうね。
- ☆あっという間に3年がすぎました。いつも頑張っている子ども。また、宜しくお願いします。
- ☆中学では様々な学校行事や堀マラソン等、色々な事にチャレンジし頑張れたね。4月から高校生。楽しみでもあり、心配でもあり。でも一緒に沢山の方達に支えてもらいながら、また、楽しく頑張ろうね。

ほんのり暖かいメッセージばかりですね・・・

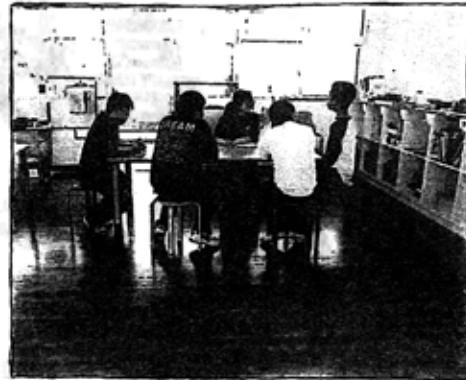
新一年生～よーいドン！！

新 高校一年生

インタビュー

座談会風

今年、高校一年生になった4人に、インタビューをしました。4月4日、春休みにきらきら屋にて行いました。その様子をお届けします。
(※回答欄のキャラクターは、指導員コメントです)



Q1 中学校で頑張ったこと、大変だったことはありますか？

運動会や作業を頑張った!

(運動会、盛り上がり、上手だね!)

A

体育と勉強!

(体育と勉強の両方、大変だね!)

B

受験勉強を休日8時間平日4時間頑張りました。

(勉強と休憩、バランスがよかった!)

C

勉強を頑張りました。

(がんばりすぎ!)

D

Q2 試験では何をしましたか？

数学と国語のテスト! どちらも大変だったよ!

(難しいですね!)

D

テストの結果が開示される、数学と国語のテストが大変だったよ!

(結果どうだった?)

C

国語のテストがあった!

(ういそに答えてくれました、偉かったですね!)

B

名前書けた!

(大事だね! スバラシイ!)

A

Q3 高校生になるにあたり、1番大切な事はありますか？

友達出来るかな...

(友達100人で遊べるかな? できるかな!)

A

勉強出来るかな...

(ドキドキだね! やんちゃこをやるのかな?)

B

色々練習してきて、もう大丈夫です! 問題ない!

(自信、あがり!! 応援してるよ!)

C

特に大丈夫です!!

(困り番がある、相談してね! 頑張り!)

D

Q4 何か元々張りたい事はありますか？

働く!! 野菜(ピーマン)食べられるようになる!

(園芸部ですかね。)

D

作業、朝運動、勉強! 英語は卓球と和太鼓でがんばる。中学校で習った事を拡大したい!

C

ん〜... お仕事は... (作業中)

勉強張りしたい!

B

縫製王! 火田!!

A

Q5 いちばん屋 ☆☆ きらきら屋でやりたい事はありますか？

お手伝いを頑張りたい! 高校生の友達と仲良くしたい!

B

i-pad4やりたい! あと、お着替え頑張る!

A

料理を作って... (夜中...)

お手伝いをしたい!

D

更に成長させたいこと、今の自分の(将来?) 場の空気を読めるよう元々張りしたい! 料理のお手伝いもしたい!

C

〜インタビューの裏話〜

みんな、とても立派な答え方をしてくれました!! が... 各放課後等デイサービス事業所(きらきら屋、いちばん屋)で指導員の厳しくも優しいアドバイスを受け、当日を迎えました。ということで、「はなまる」なインタビューと相成りましたね。



障害福祉サービス

2018年 春号 No.1

にゅうすほっくす

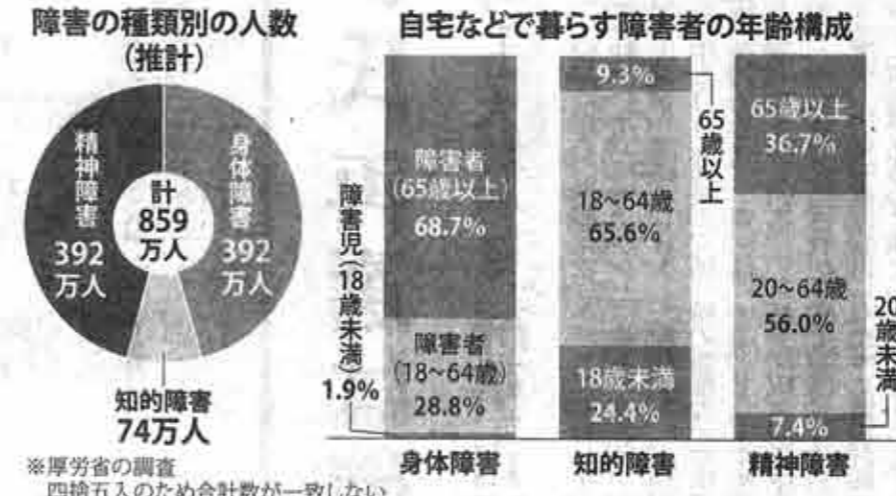
地域で暮らす環境整備

障害福祉サービスの事業者が支払われる報酬(償還)が4月に改定されるのを前に、報酬額が今月まとまりました。改定は原則3年に一回で、国が目指す支援の方向性に沿って単価が決まります。改定内容を踏まえて今後の支援の在り方を考えました。【山田泰蔵】

身体・知的・精神3分類

10年で総数150万人増

障害は大きく身体障害、知的障害、精神障害の3つに分かれる。複数の障害を併せ持つ人もいるため、単純な合計にはならないが、厚生労働省が「身体障害者と精神障害者」



入浴や食事、リハビリなど 利用料は収入を反映

サービスには、自宅や施設で入浴や排せつ、食事の介助、リハビリ、生活の相談をするの増加が目立つ。知的や精神障害では、発達障害など新たな障害者と認識されるように

高齢化 重度化に対応 費用削減の狙いも

政府は、障害のある人ができるだけ地域で暮らし続けられる環境を整えたいと考えており、改定の柱は、支援の強化策だ。特に近年の特徴である高齢化や重度化に対応できるサービスを新設する。

作る・売る・交わる

「福祉ショップ」開催中

野菜やパン、菓子、木工品など、桐生地域の障害福祉サービス事業所で生産される製品を共同販売する「福祉ショップ」が、毎月第2・第4木曜日の桐生市役所と、第1木曜日の新里総合センターで開催されている。製品をつくるだけでなく、それを販売することは、障害のある人にとって大切なコミュニケーションの機会。ものが売れば工賃のアップにもつながり、その人らしい自立した生活を営むための一助にもなる。

桐生市役所と新里総合センターで 障害持つ人の自立の一助に

5日、桐生市新里総合センターで開かれた今年度最初の福祉ショップには「赤城の家」みやま園「工房ふじ」の3事業所が出店。とれたての野菜をはじめ落花生、手づくりケーキ、豊富な種類のパン、からだにやさしい木工玩具などが並んだ。販売時間は午前11時から午後1時半まで。正午すぎには大勢の市職員や市民が店をのぞき、施設のスタッフや利用者も話し掛けながら買い物を楽しんだ。

2018年度福祉ショップ開催日

市役所本庁	新里	
	1班	2班
4月	12日	5日
5月	10日	24日
6月	14日	28日
7月	12日	26日
8月	9日	23日
9月	13日	27日
10月	11日	25日
11月	8日	1日
12月	13日	6日
1月	10日	24日
2月	14日	28日
3月	14日	28日

※市の事業により変更する場合もある

福祉ショップを評価する。「製品は安い、顔が見えるのでどれも安心。開催されるときはよく利用します」と、ある女性は話した。



5日、新里総合センターで開催された福祉ショップ。市民や職員らが訪れ、パンや野菜、木工品を買い求めた。

障害者の自立に向け環境整備

県は、県内全域での特別支援学校の高等部設置を進めており、新年度は沼田、藤岡、富岡、吾妻地域の高等部などの整備に計24億2228万円を充てた。生徒は今年4月から仮校舎などで学び始め、2020年度までに新たな校舎に移る予定だ。

つあると市福祉課では話す。課題は「工賃アップ」。ただ、工賃アップは変わらぬ課題。県障害政策課のまことによると、県内B型事業所の16年度工賃平均月額は1万6860円。県が目標に掲げた1万9000円には届かなかった。以前に比べ上昇してはいるものの、そのペースは緩やかだ。

北斗七星も豆腐販売中!!

To-FUO

「ミュージック・フォード」は2002年12月設立。音楽や芸術活動を通して、児童虐待防止やバリアフリー推進などの活動を行っている。このコンサートは赤い羽根共同募金の助成を受けている。問い合わせは事務局(0274-3500800)。

【増田勝彦】

2018年 春号 No.1

知的障害者に音楽届ける

高崎市のNPO法人「ミュージック・フォード」は、知的障害者のためにコンサートホールに行きたくが限られてしまっている人たちに、プロの演奏を聴く機会を提供する「特別支援学校・支援施設訪問コンサート」の実施先を募集している。開催期間は5月・12月下旬。開催費用は無料で募集は5件。応募締め切りは6月末。定数になり次第締め切り。

高崎のNPO 演奏先を募集

障害児の療育 母も子も笑顔

3月の「ひととき」(東京本社版)欄に、お子さんの卒園を前にした神奈川県相模原市の岡村絵美さん(38)から投稿をいただきました。長男の明槻君(6)が通っていたのは、障害児の「療育」を専門にする施設です。障害のある子どもを育てる不安でいっぱいだった絵美さん。ここで過ごした3年間は、息子の存在を全面的に肯定することを教えてくれた貴重な時間でした。(中井なつみ)

3月21日掲載の「ひととき」

3月26日、6歳の息子は卒園式を迎えます。発達に遅れがある子どもを受け入れ、療育をする「第一陽光園」は息子たちが最後の卒園児となり、休園します。思い返せば2歳の時、市の臨床発達心理士さんから「すぐに陽光園に」と言われたのが園との出会いでした。初めて訪れた園は暗く見えませんでした。その頃、言葉が出ない、視線も合わない息子が知的障害があるとわかり、「障害」という言葉の重みにショックを受けたことをよく覚えています。将来が不安になり、息子がしゃべっている夢を見ては朝起き、現実に戻され、泣いてしまう日々でした。しかし入園後は、自分の心がどんどん晴れていきまし。同じ思いをわかちあえるママたちとの出会い。環境の変化にとまどう息子に「いつもと違うことがわかってるね」と明るく接してくれた先生方。最初の頃は泣き叫んでいた息子も、今は喜んで教室に入っています。私自身、福祉に関する知識が増え、考え方の幅が広がりました。入園し、親子ともになくましく成長できた3年間でした。暗く見えていた園も、今ではキラキラ輝いて見えます。たくさんの愛情をありがたうございました。

とがめない姿勢 親の不安払う

「おめでとー!」「これからよろしくね」。4月5日、相模原市にある県立相模原中央支援学校の入学式。絵美さん親子が校内に入ると、大勢の職員が迎えた。

大きめのスーツに、真新しい上履き。明槻君の手を引く絵美さんは、晴れやかな笑顔を浮かべる。ただ、そんな絵美さんにも、以前は自然に涙

がこぼれてしまうような日があった。

絵美さんが明槻君の障害を意識するようになったのは、1歳半のころ。市の乳幼児健診で、看護師から「目がなかなか合わない」「言葉が出ていない」などの様子指摘されたのがきっかけだった。「しばらく様子を見ましょ

う。2歳になったら、臨床発達心理士と面談してみてください」と言われた。

家族が寝静まってから、インターネットで「1歳 男の子 しゃべらない」と検索して情報を集めたり、地域の保育園の保育士に相談したり。「もしかししたら、うちの子はほかの子と違うのでは」という心配が浮かんだが、「男の子だから、言葉が出るのが遅

いだけ」と心の中で何度も打ち消した。不安を抱えたまま、2歳になった明槻君と臨床発達心理士との面談へ。そこでは、「すぐ、療育を始めましょう」。知的障害のある自閉症と診断された。その後、障害児の療育を行う「第一陽光園」に通うことが決まった。療育とは、障害のある子どもが、社会性や日常生活での自立をめざすための「医療」と「保育」を一緒に行うこと。第一陽光園は、相模原市の専門施設として40年以上の歴史があった。初めて園に足を踏み入れた日、古い建物はどこか暗い印象だった。「療育って、何だろう」。明槻君も、慣れない場所に行くことを嫌がり、登園バスに乗るにも泣き叫ぶ毎日。心に不安が広がった。

そんな絵美さんの思いを変えたのは、第一陽光園の保育士たちだった。教室で明槻君が突然走り出してしまったとき、玄関をくぐってから教室に行くまで、廊下にあるすべてのコンセントに触らなくて気が済まなかったとき……保育士たちはとがめたり、否定したりすることなく、にこやかに「今は、明槻君はそういう気分なんだよね」「なにか不安があるのかな」と明るく声をかけた。



第一陽光園の卒園式で、職員に駆け寄って抱きつく明槻君。絵美さん(右)は、笑顔でスマートフォンを向けた。いずれも相模原市



県立相模原中央支援学校の入学式に出席した絵美さん親子

「職員や仲間 私も育ててくれた」

忘れられない瞬間がある。「まーる」

明槻君が4歳になってしばらくしたころ、はつきりこんな言葉が聞こえた。明槻君が生まれて初めてしゃべった言葉。保育士たちがよく口にしていたフレーズだった。

リュックのファスナーを閉めたり、ハンカチを決められた場所に置けたり、日々のちよっとした「成功」を、保育士たちは両手で大きく「まーる」をつくり、「あつまくん、まーる!」と声をかけてく

れていたのだ。園に入る前、明槻君の行動が「わからぬ」と途方に暮れることが多かった。滑り台に上っても降りてこない。特定のものしか食べない。こうした行動にも、明槻君の「意思」があることを教えてもらった。

保育士に加え、似た境遇で子育てをしている母親たちとも知り合った。「こんなとき、どうしてる?」「うちも困った時期があったよ」。こんなやりとりができる仲間も

支えになった。園は、明槻君が最後の卒園生となり、この4月から休園。来年度に廃園になる。市内に療育を行う複数の民間施設ができたことで、市立の園は役割を終えたという相模原市の判断だ。

さみしさはある。でも、園での生活を経て、子育てが不安で仕方なかった数年前の自分はいなくなっただけで、分は、親である私のほうだったのかもしれません」

本人が大切にしていることを、とるに足らないこと一方向的に判断しないで、この行為こそが文化創造の軸であると考えています。

久保田翠

一日中、ケースに鍵を入れて打ち鳴らす息子。重度の知的障害をもつ彼・壮の「たけしルール」を基準として福祉施設を運営してきたNPO法人代表は、これを「問題行動」ではなく表現未達の「個人の熱意」と捉え、人びとの分断を超える社会のあり方を追求する。芸術選奨文部科学大臣新人賞贈呈式(3月13日)でのスピーチから。

開園半世紀 今も200人超入居

3/4 朝日

国内唯一の国立知的障害者施設「のぞみの園」が群馬県高崎市に開園され、半世紀近くになりました。入居者は高齢になり、施設は老朽化が進んでいます。「施設から地域へ」という流れの中で、今後はどんな役割を担っていくのでしょうか。園をめぐり取り組みを探ってみました。

高崎市の住宅街にある平屋建ての一軒家。のぞみの園が高齢になった入居者の受け皿としてつくったグループホーム「いしはら」だ。

現在、62歳から82歳の男女8人が暮らす。車いすが対向できる広い廊下やリフト付きの風呂場などを備え、障害の程度が重い人に対応する。

ここで暮らす及川栄子さん(69)は、ピンクのマニキュアがお気に入り。入浴やトイレに介助が必要で、足元はおぼつかない。それでも日中活動の事業所で歌うことや、日曜日に買い物やお花見に出かけることを楽しんでいる。

夕食後、グループホームの職員が「明日、おしゃれして髪を切りに行くんですよね」と語りかけると、及川さんは「うん」と笑顔で答えた。及川さんはのぞみの園で44年間暮らし、3年前に施設を

国立知的障害者施設「のぞみの園」

出た。園が入居者を地域に戻す「地域移行」を進める中で、及川さんは何度か施設を出る対象になった。ただ、母親(89)は環境が変わることへの不安などから施設で暮らし続けることを望んだ。

65歳以上6割占める

親亡き後も知的障害者が安心して暮らせる「終生保護」の場を親たちが求めたことを受け、のぞみの園の前身は「国立コロニー」として1971年に開園された。自治体が各地に開設した大規模コロニーとも連携し、運営方法や事業展開などを情報交換。知的障害者の支援モデルに取り組み役割も担った。

一時は全国から5500人の定員を上回る申し込みが殺到したが、80年ごろから障害者

安定になってきたこともあり、園は見守りの目が行き届きやすいグループホームへ移るよう提案。体験入居をした及川さんの表情が和らぎ、声が多く出るようになったことで、家族も同意した。

及川さんの弟の靖さん(58)は「新しい環境になじめるか不安でしたが、本人が望む場所が一番。街の人と顔を合わせ、障害があることが不幸ではないと知ってもらったことに感謝」と話す。

も障害のない人と地域で暮らす「ノーマライゼーション」の考え方が浸透。のぞみの園も2003年に「施設から地域」へと方針を転換し、独立行政法人に移行した。それを機に新たな受け入れを停止。入居者は出身地の地域へ戻ってもらうよう促し、受け皿がない人ら向けには「いしはら」のような直営のグループホームをつくった。

今年1月までに計171人が地域に移った一方、なお2

00人以上が施設で暮らす。65歳以上の人が約6割を占め、100人以上は車いすを使う。医療ケアが必要な人も多く、認知症の人目立つ。

入居者を地域に移すには本人と家族の同意、受け入れ先の自治体や事業者の協力が欠かせないが、高齢になるほどハードルは高い。近年の移行者数は年間で5人程度だ。

事業企画・管理課長の古川慎治さんは「移行した人で『施設に戻りたい』と言う人は1人もいない。今より幸せと思える環境を用意し、少しでも街の暮らしができるようにしたい」と意気込む。

高崎市内の直営グループホーム「おおいし」で暮らす小山田正子さん(68)は昨年、肺炎になり、施設内の診療所に入院した。治療は20日ほどで終わったが、リハビリのため通院が必要だった。だが、半日ばかりで付き添う職員を配置するのが難しいこともあって退院を延期。入院期間は3カ月ほどになった。

夜間の緊急時も含め、医療機関との連携は、移行後の課題の一つだ。グループホームに戻った小山田さんは「みんなと会えて楽しい。ここではずっと暮らしたい」と明るく語った。

「国立の施設必要か検討を」

のぞみの園のあり方をめぐり、厚生労働省は昨年5月、高齢化や施設の老朽化など「取り巻く状況が大きく変化してきている」として中長期的な運営方針を議論する検討会を設置。検討会は今年12日、報告書を公表した。

報告書では「入所者については、国として最後まで責任をもって支援する」とし、地域移行をさらに進めることに加え、事業の効率化や、民間も含めた運営主体のあり方の検討も求めた。立地場所が市街地から離れて孤立している

(森本美紀)



ネックレスやブレスレットをつけ、職員にお気に入りハンカチを見せる及川栄子さん(左)＝高崎市のグループホーム「いしはら」



のぞみの園では入居者の高齢化が進む。最高齢の佐古美也子さん(右)は93歳＝高崎市



いしはら

2018年
春号

No. 2

悩みのつぼ



回答者 社会学者 上野千鶴子

重度の心身障害児を在宅でケアしておられるお母さん。夫との関係が難しくなってきたら、障害を持った子どもを産んだために、家族が結束するのはレアケース。実際にはそのせいで家族が壊れることの方が多いたが、現実です。もし婚姻状態を継続したまま別居しておられるだけなら、夫には妻と子の生活を保持する義務があります。つまり婚姻費用という生活費を請求できます。もし離婚しておられるなら、慰謝料と養育費を請求できます。子どもさんの障害年金と養育費、母子家庭への支援等を加算すればぎりぎりですが、在宅生活ができないわけではありません。

「依存の供給」独占しないで

夫と交渉してください、というのが法律家の答え。わたしの答えはここからです。あなたでなければケアができない子どもさん。もしあなたが病気になったり、万が一先立ったりなさったら、いったいどうなるのでしょうか？ 重度障害児の親は死ぬまで子どもの世話から逃げられない。それどころか死んだ後の心配までしなければならぬ立場に立たされています。どんなに「複雑なケア」でも、障害者と交渉のプロや経験のあるヘルパーさんなら、委ねることもできるでしょう。わたしでなければと背負いこむことこそ、「当事者研究」のバイオニアのひとり、脳性麻痺者の熊谷晋一郎さんは「依存の供給の独占」と呼びました。わたしでなくてもお世話できる「機会を子どもさんから奪うことで、子どもさんの生存の機会を低めているのはあなた自身かもしれません。親は子に先立つのが順番。



その時、この子を置いて死ねない、いっそひとりに道連れに、なんて思ったら、子どもの命を奪うことになりま。子どもさんはどんなにかわいくても、あなたの独占的な所有物ではありません。どんな子どもにだって、生きる権利があります。あなたの強い愛情も責任感も感じますが、それならなんとか子どもさんがいずればあなたなしでも生きていけるような手立てを考えてみてください。そのための制度的な手段は、介護保険や障害者総合支援法などでそろってきま。日本の社会福祉制度は諸外国に比べてもそんなに見劣りするものではありません。ただ使い方がわからないだけで、今からでも自治体や障害者団体の相談窓口に行って何が使えるかトライしましょう。「施設入所」か「生活保護で在宅ケア」か、二つ以外の選択肢が見つかりますよ。

上野先生、愚かな40代母の悩みを聞いてください。我が子は最重度の心身障害のある幼児です。寝たきり・人工呼吸器ですが、時間をかけて、福祉の枠組みや信頼できる病院、療育施設をようやく確保し、家庭で過ごせるようになりました。夫の努力もあり、子どもは入院がちなった頃よりも表情が豊かで穏やかです。発語も笑顔もなく、全てに介護が必要な子ですが、いとおしくなりません。しかし、夫が私との関係に不満を抱くようになり、結婚生活を維持するのが難しくなってきました。私と一緒に暮らしたくないそうです。相談は、生活保護などを受けたい子どもを在宅生活を維持する

かです。施設は遠方で、私も働き始めれば、我が子には滅多に会えなくなり。きめ細かなケアや家庭生活は失われ、最悪、虐待も気がかりです。ただ、自分の本音が、「子を捨てた母親になりたくない」という見えや自分の身勝手な罪悪感なのではないかと恐れています。

他方、頑張っても本当に一人で子どもを育てられるのか非常に不安です。心身の疲れや将来への不安も拭いたいです。ケアが複雑なため頼れる身内や友人はいないのが現状です。死んだ方が楽ではと思うほど苦しいです。どうしたら自分の気持ちを見極め、正しく決断できるでしょうか。

その時、この子を置いて死ねない、いっそひとりに道連れに、なんて思ったら、子どもの命を奪うことになりま。子どもさんはどんなにかわいくても、あなたの独占的な所有物ではありません。どんな子どもにだって、生きる権利があります。あなたの強い愛情も責任感も感じますが、それならなんとか子どもさんがいずればあなたなしでも生きていけるような手立てを考えてみてください。そのための制度的な手段は、介護保険や障害者総合支援法などでそろってきま。日本の社会福祉制度は諸外国に比べてもそんなに見劣りするものではありません。ただ使い方がわからないだけで、今からでも自治体や障害者団体の相談窓口に行って何が使えるかトライしましょう。「施設入所」か「生活保護で在宅ケア」か、二つ以外の選択肢が見つかりますよ。

難聴の子に大切な難聴の先生

会社員 和田 朋子 (神奈川県 52)

娘は横浜市の公立中学1年生。聴覚障害があり、補聴器を使っても友達との会話は聞き取れないことが多く孤独感も味わっている。月1度、難聴生徒向けの通級指導教室に通う。今の先生は難聴の当事者だ。聞こえないために読みを間違えて覚えやすい言葉の指導や、聞こえる人が主流の社会で積極的に人生を切り開くための助言は、ご自身の経験に基づいたものだろう。娘に素晴らしい影響を与えて下さっている。

だが、この方は育休代替等の非正規教員で、いつ契約が切れるかわからない。市内の通級教室には他に聴覚障害の方はいない。聞こえる先生は「聞こえない子はかわいそう」と感じ、子どものつらさを受け止めることを最優先になさることがある。しかし、聴覚障害は見た目ではわからないため、自分から周りに伝えないと必要な配慮も受けられない。社会に出て仕事をするために、自分から働きかける強さを育てる指導が必要だ。ロールモデルとなる障害当事者の先生は貴重で、もっと増やして欲しい。聞こえる先生が当事者の先生から学ぶ体制も欲しい。

すてきな店長 応援しています

主婦 矢口 秀子 (茨城県 76)

全く知らない土地に転動してきたというスーパーの店長さんと、あいさつを交わすようになって2年になる。「気がついたことは何でも言って下さい」と、いつも笑顔と低姿勢なのに感心している。店内新装開店の日。大型冷蔵庫の位置が変わり、床にしみこんだ汚れを店長が布で真剣にこすっていた。急に土砂降りになった日。駐車場の車まで行けない客に、店員さんと出口でビニール傘を渡していた。「お使い下さい」と。肌を突き刺すように寒い日。駐車場の数カ所のショッピングカート置き場で、乱雑に置かれたそれらを整理していた。身軽な性格なのか、率先して仕事をすすめる姿に、従業員は無言の教えを受けているだろう。雨の日のスタンプ押印も店長の考案かな。応援したくなる店だ。

当たり前前の言葉が誰かの励みに

大学生 橋本 智佳 (福岡県 21)

「お姉さん、いい笑顔だね。ありがと」。「バイト先で下げた頭をバツと上げると、笑顔のお客様がいた。いわゆる「神対応」をしたわけでもないのに、その人は感謝の言葉を伝えてくれた。とてもうれしい言葉であった。そして私も先日、ニコリともしない店員から商品を手渡された時、「ありがとございます」と言った。直前まで接客態度に不満を覚えていたので、実は心が全くこもっていない言葉であった。それでも、その店員は「久々にありがとって言われた」と笑顔になった。別に特別なことはしなくていい。当たり前前の行動は、誰かにとって素晴らしい行動になるのだ、と実感した。

障害者就労支援 課税に戸惑い



NPO法人では、利用者が折り鶴を広げて伸ばす内職を続けていた。広島市東区

国税庁「収益事業」 NPO「福祉目的」

NPO法人による障害者向けの就労支援について、国税庁が「原則、収益事業で納税義務がある」との見解を示した。全国の小規模作業所に不安が広がり、課税を不服として争う法人もある。作業所などの全国団体「きょうされん」（事務局・東京）は近く、国税庁長官に撤回を求める。

国税庁は昨年7月、ホームページで見解を発表。こうしたNPO法人は障害者と契約して役務を提供し、利用料を受け取る「請負業」との判断を示した。税法上、収益事業は請負のほか物品販売、製造など34業種に限られる。国税庁の担当者は「NPO法人の障害福祉サービスは以前から収益事業だが、複数の税務署から相談があり、見解を示した」。広島市の「つくしんぼ作業所」は国などの給付を受け、就労困難な知的障害者

「一方的解釈だ」「特別扱い困難」

国税庁の方針に対しては、税理士や会計士ら約500人でつくる「NPO会計税務専門家ネットワーク」も反発している。ネットワークが14年発行の書籍で「NPOの就労支援は非課税と解説しているからだ。岩永清滋理事は「国税庁

NPO法人と課税
特定非営利活動促進法により設立されたNPO法人は株式会社と違い、毎年の利益や解散する時の残余財産を構成員に分配できないが、利益を上げる事業は行える。法人税は所得に課税するので赤字のNPO法人は課税されない。所得が年800万円以下のNPO法人の税率は中小企業と同じ15%。

に働く場を提供。19〜46歳の男女18人がクッキーを作るなどしている。2007年にNPO法人となった際、税務署から「収益事業でない」と説明を受けた。だが15年に一転して収益事業と指摘され、法人税や無申告加算税など過去3年分で計約200万円を課された。昨年4月、「運営はボランティアの支えもあり、福祉が目的で収益事業ではない」と、広島国税不服審判所に税の取り消しを求めて審査請求した。今月にも結

の一方的な解釈だけで、NPOの事業の内容は変わらないうのに税が過去にさかのぼって徴収される。課税するのなら税法を整備するべきだ」と訴える。「全国重症児デイサービス・ネットワーク」（名古屋市中）の鈴木木由夫代表理事も国税庁の見解発表に「ホームページで対応するような問題ではない」と批判する。

報酬改定受け経営調査

7割減収も

4月の障害福祉サービス報酬の改定を受け、事業所団体「きょうされん」が23日、事業所の経営に与える影響に関する調査結果を発表した。一般就労が難しい人を対象とする「就労継続支援B型」を手がける事業所351のうち、約7割の246が減収となる見込みという。

今回の改定は全体では0・47%の増額。ただ、就労支援では一般就労への定着実績に応じた報酬体系の導入など、事業所の努力を促す内容も盛り込まれた。小野浩常任理事は「成果主義的な改定で、精神障害で長時間働けないなど、障害の程度が重い人を支える事業所ほど苦しくなる」と主張。国に激変緩和などの措置を求めた。

障害者事業所



小さな店の丁寧仕事

男口ひとこぎ

✉ m-hitokiki@sahi.com

仕事帰りの午後8時前。いつも利用しているスーパーの中にあるクリーニング店で、頼んでいたスーツを受け取って、びっくりした。ハンガーには、ジッパー付きの小さな袋がぶら下げられていた。四つ折りにした千円札1枚と、「佐藤様」と受け付け番号が書かれたハート形の紙が入っていた。スーツのポケットに忘れられたらしい。店は、単身赴任して10年余り利用している。「以前にも、丁寧にアイロンがけしたハンカチが戻ってきたっけ」と思い出した。

店に立つ80歳近い奥さんにお礼を言うとお客様のものですから、当たり前のことでした。かえってかえってきた。義父の代から半世紀余り続く店だ。ポケットの点検を徹底し、運転免許証などが見つかった時は、すぐにスーパで店内放送をかけてもらうという。私服の場合は数珠が入っていることが多く、3万円の現金が見つかったことも。「あの時は、えらく感謝されましたね」と笑って話してくれた。

栃木県那須塩原市 佐藤 範明 会員 70歳

2018年 春号 No.3



「つくしんぼ作業所の顧問税理士を務める松崎晶子さんは「福祉を主体とするNPOも企業のような節税策を考えなくてはいけない」と話している。（村上潤治）

障がいある生徒と共に学ぶ米国 ②

中学生 磯田 武賢 (東京都 15)

「障がいを持っている人を見たことはある？」と聞かれたら、ほとんどの人は「ある」と思うはずです。しかし、実際に交流する機会は日本ではあまりありません。

私は、アメリカ合衆国で暮らしたことがあります。公立学校に通っていましたが、学年に最低5人はダウン症や自閉症などの生徒がいました。同じクラスで授業を受けます。「サークル・オブ・フレンズ」というグループもあり、障がいを持つ生徒と一緒に昼ごはんを食べたり、ゲームで遊んだりして、交流しました。

このように同じ学校で共に生活することで、障がいを持っていても、他の生徒と同じ同級生なのだというふうな考え方が変わりました。交流を深めることが、互いを理解し合うためには重要なのではないのでしょうか。

にゅうすぼくす

NPO 法人
「北斗七星」情報箱

平成30年4月24日発行

2018年
春号

No 4

3月の気流賞

息子と友の絆に感謝

無職 高橋 廣雄 67 (仙台市)

昨年暮れ、息子が眠る郊外の墓に行くと、1枚のメモを見つけました。雨にあたり、字がにじんでいましたが、そこには「久しぶりでゴメンな、これからみんなを見守ってくれヨ」とありました。生前の息子と親しかった支援学校高等部時代の「リーダー」のメモだとすぐ分かりました。

息子は高等部卒業後、通所施設で働いた後、9年前に病気で亡くなりました。25歳でした。リーダーは車いすで、誰かの付き添いがなければ移動できません。それでも墓参りに来てくれたのです。

リーダーを含む息子の仲間たちも30代に入り、それぞれ仕事などで忙しいはずですが、私はそのメモを大切に持ち帰り、仏壇の息子の写真の前に置きました。人と人との絆の大切さを教えてくれた良き友人たちに、感謝の思いでいっぱいです。

(3月17日掲載)

障害児育てる不安払う情報も

日本語講師
ヴェッツェル吉田 優子 (神奈川県 38)

私は大学で障害児教育を学び、特別支援学校で働いて、障害のある子どもたちと関わってきた。そんな中で、行政には様々な支援や相談窓口があることや、どんな教育を受けていくのかを知った。また、家族で支え合い困難を乗り越えて、笑顔で暮らしている多くの家族とも出会えた。だから、妊娠した時には、もしこの子に障害があったとしても何も不安はない、と思えた。

こうした前向きな話が少なく、不安に思わせる材料ばかりが目立つのではないか。新型出生前診断を冷静に受け止めるために、バランスの取れた情報を願う。

障害者事業所 運営難放置するな

パート 澤出 真紀子 (北海道 50)

障害者が働く場の一つ、「就労継続支援A型事業所」が各地で相次ぎ閉鎖しているという。国の福祉施策が、大きな曲がり角を迎えているのではないかと心配だ。

障害者の就労支援事業所には3種類ある。当初から企業など一般就労を目指す「就労移行支援」、現段階では一般就労が難しい人に雇用契約に基づかず工賃を払う「B型」、雇用契約を結び、最低賃金を保証するのが「A型」だ。

A型事業所は食品の製造販売や清掃作業などの仕事が多い。給料は事業収益をあてることになって

いる。ただし、一般企業と障害者施設は目的が違う。営利企業と競争しながら利益を上げるのは難しいのが当たり前だと思う。ところが厚生労働省は昨春、A型で、国の補助金を障害者の給料にあてることを事実上禁止した。運営ができなくなることは織り込み済みだったのでは、と疑ってしまう。

数ある事業所の中には、補助金頼みで肝心の支援サービスがおろそかだったところもあったかもしれない。しかし、事業所設置を奨励しておきながら指導を性急に強める背景には、どういう意図があるのか。長期的な展望のもと、障害者福祉を考えてほしい。

多様性の本質 彩り豊かに

絵本評論家・作家 広松由希子さん



「マルコとパパ ダウン症のあるむすこと ぼくのスケッチブック」

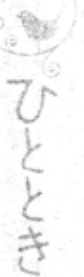
「絵ならやぶりすてられる。消して、もういちどかきなおしてもいい」「だけど、子どもは……」。作者の胸の内が吐露されるショッキングな冒頭。グスティは、アルゼンチン出身の国際的に活躍する人気絵本作家だ。ダウン症のある息子マルコの誕生を最初は「うけいれられなかった」という。父の目で描く心の画帳。悶々とコミカルな自問自答、包容力のある妻や核心をつく幼い長男テオの言葉、マルコと遊びながら発見を繰り返すといふ毎日が、彩り豊かに描かれる。



自由で巧みなデッサン、誠実でユーモラスな表現。眺めて読んで多様性の本質を味わう。大人のひとりごとにせず子どもと共有できる、訳語の選択や文字のバランスの配慮がにくい。

★グスティ作・絵、宇野和美訳、偕成社、税抜き2800円、小学校中学年から

還暦 みんなに感謝



満開の桜に祝福されながら、卒園の歌をかわいく元気に歌って巣立っていった子どもたち。私も定年を迎え、一緒に「卒園」した。結婚後1年で夫の転勤のために故郷の福岡を離れた。初めての子育ては、ハンディがある長男のあゆみの中で出会った先生方やママ友たちに支えられた。

その時にお世話になった保育園の保育に感謝を受け、ハンディがある子どもと保護者に寄り添える保育士になりたいと、保育の道に進んだ。今まで、夫と次男の協力があって無事に「卒園」でき、感謝でいっぱい。

1週間後、福岡に帰省した。父の米寿の祝いと、青春を共にした仲間たちとの還暦同窓会。青かった私たちも、それぞれの人生を精いっぱい生き、あかね色に染まりつつある今、世の中の動向を語り合えるすてきな大人になって再び集えた喜びは格別のものだった。

子どもたちと卒園式で一緒に歌った「はじめの一步」を、ポンと明るく踏み出した。

これから歩く人生。長生きしてくれている両親に、生んで育ててくれて「ありがとう！」。そして、今まで出会ったみんなに「ありがとう！」。

横浜市
横尾 清美
主婦 60歳



子どもが見る番組に多様性を

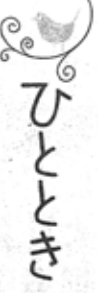
主婦 池田 理恵 (東京都 34)

間もなく小学生になる6歳の息子の成長に伴い、海外のドラマや映画を共に見る機会が増えた。そこで、登場人物の多様性と、子どもの持つ自由な感性に驚いた。息子は、人種や障害の有無は全く気にならず、物語内の性格や行動を元に登場人物を好きになり、応援しているようだ。幼稚園生活では身近に感じにくい、車いすに乗っていたり、重い病気や障害を抱えていたり、肌の色で差別を受け悩んだりする人物を、共に仲間として過ごす様子は、大人が思う以上に子どもの意識に大きな影響

をもたらすのでは、と思う。映像を通して、社会には様々な個性や事情を抱える人がいることを、幼いうちに知ることは母としてうれしい。小学校生活では、広い地域の子ともや大人たちと関わる機会が増えるだろう。東京オリンピックやパラリンピックを応援する上でも、これからさらに広い視野と多様性を認める、しなやかな感覚が育つように願う。

ぜひ多くの子どもたちが目にするヒーローものの番組やアニメ番組でも、特別なことではなく日常のこととして、様々な障害や人種が登場して共生する内容作りを、製作者にお願いしたい。

一回りして、幸せ



主婦14年目の私。夫と子ども2人に恵まれ、とても幸せな毎日を送っている。しかし、ここにたどり着くには少し時間がかかった。

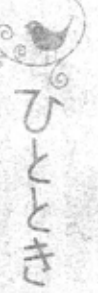
8年前に、想像もしなかった出来事に遭遇する。次男が1歳を過ぎるころ、重度の難聴と知的障害があることが判明したのだ。やり場の無い気持ちを抱え、泣いてばかりだった。生活は一変し、療育のための通院が生活の中心となった。私は次第に、心と体のバランスが取れなくなり、度々めまいをおこした。睡眠障害にもなった。何年かそんな生活が続き、心配する夫の勧めで、スポーツジムへ通い始めた。はじめは苦痛だったが次第に友達もでき、雰囲気にも慣れた。

不思議だったが、体を動かすことで、心も元気になることを実感した。少しずつ次男も体力が付き始め、私に少し余裕ができた。徐々に私は本来の自分を取り戻し、笑顔が増え、新しいことにもチャレンジできるようになった。

母としてだけでなく、人として大切なことを教えてくれた次男。今では全ての出来事に感謝している。今、私に悲壮感はない。一回りして、心からの幸せをかみしめている。

愛媛県今治市 池内 厚子 主婦 40歳

美しい瞳堂々と



「お母さん、眉毛少し薄くしたいんだけど」

中学2年生の娘が鏡を見ながら言いました。おしゃれに興味はなかったのに、年ごろかなと思いつつ理由を聞くと「学校の先生に『鉄仮面みたい』と言われた」と答えました。娘がその意味を尋ねると、目つきのことを指摘されたようでした。

これは初めてではありません。小学校でも先生に「目つきが悪い」と言われました。娘は生まれつき視力が弱く、斜視でもあります。3歳の時に手術をして、その影響で目つきがきつく見られることがあります。

夫と私は娘に「努力で直せないことや、体のことは絶対に悪く言うてはだめ」と教えてきました。だから娘は「そういうことを先生が言うて驚いたけど、私の努力不足じゃないから悲しいと思わない」と言いました。鏡を見て直せるところがないか考えていた娘を思うと、私は悔しさが収まらず、眼科医に話しました。医師は「大人になってもそんなことを言う人がいるかもしれない。でもあなたの瞳はともきれいだから堂々と生きてね」と言うてくれました。

親のできることに限界はあります。でも娘の心は、大切に守っていきたいと思いました。

東京都町田市 木田 直子 パート 44歳

発達支援サービス期待します

主婦 菊地 弘子 (宮城県 70)

「重度障害者の生活支援増額」(6日本紙)に居宅訪問型児童発達支援サービスが創設されるとあり、朗報だと感じました。

私の30代の息子はシングルファーザー。男手一つで5歳の障害のある娘を育てています。孫は歩くのがやっとなで体幹が不安定。知的障害もあり言葉ができません。眠ることもうまくできず睡眠導入剤が不可欠です。息子は仕事をしながら眠る時間を削って家事と養育にあてています。

離れて暮らす私が週末に通っていますが、孫の障害

は重く、息子の代わりは出来ぬまま体調を壊してしまいました。

いま孫は父親の愛情と理解ある保育園の先生、園の子どもたちに支えられて生活しています。この4月から特別支援学校に入学しますが、送り迎えはどうするかなどのめどが立っていません。生活面でもスプーンで食事をすることやトイレなど、どう教えてよいか。息子と私の悩みは深まるばかりです。

「専門家が自宅を訪れて発達を支援するサポート」が孫の新しい生活に役立ちますように。大いに期待しています。

にゅうすほくす

2018年 春号



障害児の学童 継続利用認めて

会社員 藤田 美奈子 (東京都 47)

「学童落ちた」。保育園の話ではありません。昨年暮れに申請した、長男の来年度の学童保育の継続利用が認められませんでした。

発達障害の長男は昨春特別支援学校に入学し、平日放課後は障害児対象の放課後デイサービスを利用、夏休みなどは近所の学童、土曜は児童館での学童と数カ所を使い分けの1年でした。

両学童の継続利用を申請しましたが、区役所の説明では障害のある新1年生から申請があり、人手がないなどの理由

由で審査に落ちたとのこと。保育所入園時と同様の「ポイント制」があるようです。学童は働く母親にとって、とても助かる場所です。夏休みなど長期の休みには、午前早い時間から受け入れるなど柔軟に対応してくれます。

昨年、障害児を受け入れてくれる学童を探すのに大変な思いをしました。何度も面談を重ね、やっと入所が決まったのに。前年通った実績を無視しての決定に納得できません。環境の変化が苦手で、配慮が必要な発達障害の子どものためにも継続利用の有効性を考慮してほしいです。

同伴者も入場料払うべきですか

NPO職員 相羽 大輔 (愛知県 36)

私はNPO職員として、東京近郊のテーマパークで障がいのある人となんい人の交流イベントを行っています。前回イベントに参加された方から「障がいのある人にとってヘルパーや通訳者は本人の体の一部のようなものなのに、入園料を払わなければならない。なぜでしょうか」と相談されました。

「確かにそうだ」と思い、今年イベントでは事前にテーマパーク側に問い合わせました。その結果、「同伴者への割引や優待などの対応は行っておりません。同伴者も『障がいの者の体の一部』では

なく、やはりひとりの大事なお客様であることに変わりはないと考えております」との回答でした。

障害者差別解消法や2020年の東京五輪・パラリンピックで目標として掲げられている「心のバリアフリー」は、公平な社会の実現を目指すものです。「夢の国」ですら理解がないのかと落胆しました。

ヘルパーたちは障がいのある方の支援のために来場します。客として楽しみに来るのではありません。障がいのある方がテーマパークを楽しむためには倍のお金がかかるのかと思うと、公平な社会は遠いと思ってしまう。